

marantz®

CD Player
CD6005

取扱説明書

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露（つゆつき）について	4
換気についてのご注意	4
移動させるときのご注意	4
付属品	5
乾電池の入れかた	6
リモコンの使いかた	6
特長	7
高音質	7
多彩な機能	7

各部の名前

フロントパネル	8
ディスプレイ	10
リアパネル	11
リモコン	12
本機の操作	12
アンプおよびチューナーの操作	15
ネットワークオーディオプレーヤーの操作	16

接続のしかた

ステレオオーディオアンプを接続する	18
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	19
USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する	20
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	22
接続	22
設定	22
オーディオタイマーに接続する	23
電源コードを接続する	24

再生のしかた

基本操作	26
電源を入れる	26
メディアモードを切り替える	26
ディスプレイの明るさを切り替える	27
サウンドモードを切り替える	27
CDを再生する	28
CDを再生する	28
A-B間リピート再生をする	30
お好みの順序で再生する（プログラム再生）	31
特定の曲をとばして再生する （デリートプログラム再生）	32
ディスプレイ表示を切り替える （CD-TEXT）	32

データCD (MP3、WMAおよびAACファイル) を再生する	33
ファイルを再生する	34
iPod®を再生する	36
iPod®の曲を再生する	37
iPodの操作モードを設定する (Remote iPodモード)	37
USBメモリーを再生する	39
USBメモリーに保存されたファイルを再生する	40

設定のしかた

設定メニュー 一覧	42
メニューの操作のしかた	43
Digital Out (デジタル出力)	44
Timer Play (タイマー再生)	44
Disc Setup (ディスク設定)	45
Display Info (ディスプレイ表示)	45
Play File (ファイル再生方式の設定)	45
USB Setup (USB設定)	45
Display Info (ディスプレイ表示)	45
Play File (ファイル再生方式の設定)	45
Resume (レジューム設定)	46
iPod Setup (iPod設定)	46
Display Info (ディスプレイ表示)	46
iPod Control (iPod操作の設定)	46
Resume (レジューム設定)	47
Auto Standby (オートスタンバイ)	47

困ったときは

目次	48
こんなときの解決方法	49
故障かな?と思ったら	51
保証と修理について	57

付録

再生できるメディア	58
ディスク	58
ファイル	58
USBメモリー	59
MP3/WMA/AAC/WAVファイルの再生順番について	61
フォルダとファイルについて	62
メディア使用時のご注意	63
ディスクの入れかた	63
メディアの取り扱いについて	64
ディスクのお手入れのしかた	64
用語の解説	65
主な仕様	66
索引	68

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1～2時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

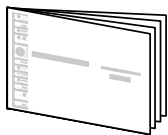
- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

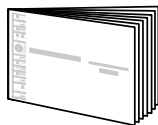
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

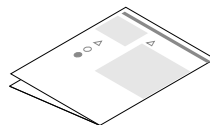
① 簡単セットアップガイド



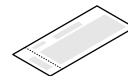
② 取扱説明書（本書）



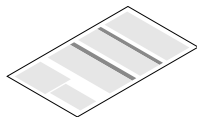
③ 安全にお使いいただくために



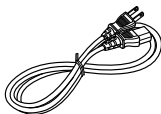
④ 保証書



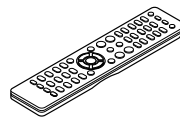
⑤ 製品のご相談と
修理・サービス窓口のご案内



⑥ 電源コード【本機専用】



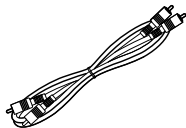
⑦ リモコン
(RC001PMCD)



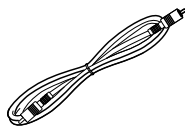
⑧ 単4形乾電池



⑨ 音声ケーブル

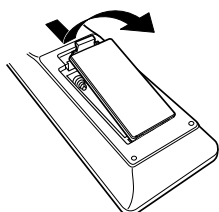


⑩ リモート接続ケーブル

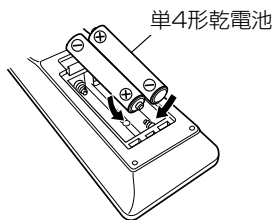


乾電池の入れかた

- 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- 乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



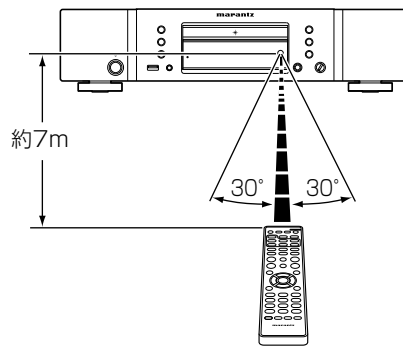
- 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。

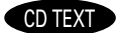



特長

高音質

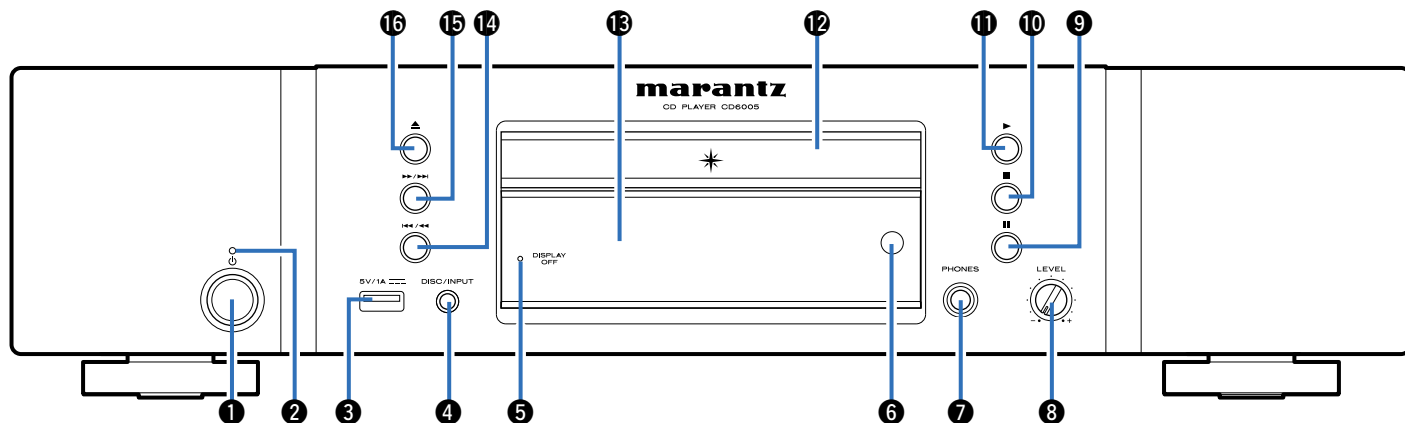
- **マランツオリジナルHDAM[®]SA2回路を採用**
上位モデルのスーパーオーディオCDプレーヤーやアンプで実績のあるHDAM[®]SA2回路を高速バッファアンプとして搭載しました。
クラスを超えたハイスピードで高品位な再生をお楽しみいただけます。
- **シーラスロジック社製高性能D/AコンバーターCS4398を搭載**
音質の重要な要素を占めるD/Aコンバーターには、当社のスーパーオーディオCDプレーヤーに採用し、定評のある高精度なシーラスロジック社製CS4398を使用しています。
- **Audio EX機能を搭載 (P.27ページ)**
デジタル出力やディスプレイ表示をオフに設定することで、アナログ出力の音声を高音質でお楽しみいただけます。
- **高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載**
高速電流バッファアンプを搭載した、高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聴くときなどに高音質でお楽しみいただけます。

多彩な機能

- **MP3、WMA、AAC ファイル再生に対応 (P.33ページ)**
CD-RやCD-RWディスクに記録したMP3、WMA、AACファイルを再生できます。
- **USBメモリー (MP3/WMA/AAC/WAV) やiPod再生に対応**
USBメモリーまたはiPodをUSB端子に接続することにより、USBメモリーやiPodに保存した音楽ファイルを再生できます。
- **CD-TEXT表示に対応**
CD-TEXTとは、従来の音楽CDにアルバム名や曲名などの文字情報を記録した音楽ディスクです。次のようなロゴが付いたCD-TEXT表示に対応しています。
 
- **16文字・2行表示の大型表示管**
MP3ファイルやiPodの再生中、大型表示管に文字情報を表示します。

各部の名前

フロントパネル



① 電源ボタン (⏻)

電源をオン/オフ (スタンバイ) します
([P.26](#)ページ)。

② 電源表示

電源の状態によって、次のように点灯します。

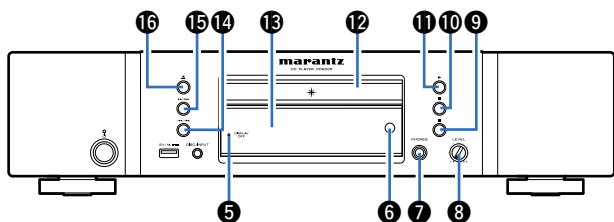
- 電源オン時：消灯
- 通常のスタンバイ時：赤色
- iPodの充電スタンバイ時：橙色

③ USB端子

USB機器 (USBメモリーなど) やiPodに付属のUSBケーブルを接続します ([P.20](#)ページ)。

④ メディアモード切り替えボタン (DISC/INPUT)

再生するメディアモードを切り替えます
([P.36](#)、[P.39](#)ページ)。



⑤ ディスプレイオフ表示 (DISPLAY OFF)

ディスプレイの明るさが消灯のときに点灯します
([P.27](#)ページ)。

⑥ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します ([P.6](#)ページ)。

⑦ ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンを接続します。

ご注意

- ・ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⑧ ヘッドホン音量調節つまみ (LEVEL)

ヘッドホンの音量を調節します。

⑨ 一時停止ボタン (II)

再生を一時停止します
([P.29](#)、[P.34](#)、[P.38](#)、[P.40](#)ページ)。

⑩ 停止ボタン (■)

再生を停止します
([P.29](#)、[P.34](#)、[P.38](#)、[P.40](#)ページ)。

⑪ 再生ボタン (▶)

再生をはじめます
([P.29](#)、[P.34](#)、[P.38](#)、[P.40](#)ページ)。

⑫ ディスクトレイ

ディスクを挿入します ([P.28](#)ページ)。

⑬ ディスプレイ

各種情報を表示します ([P.10](#)ページ)。

⑭ スキップ/早戻しボタン (I◀◀/◀◀I)

再生中の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しします ([P.29](#)、[P.34](#)、[P.38](#)、[P.40](#)ページ)。

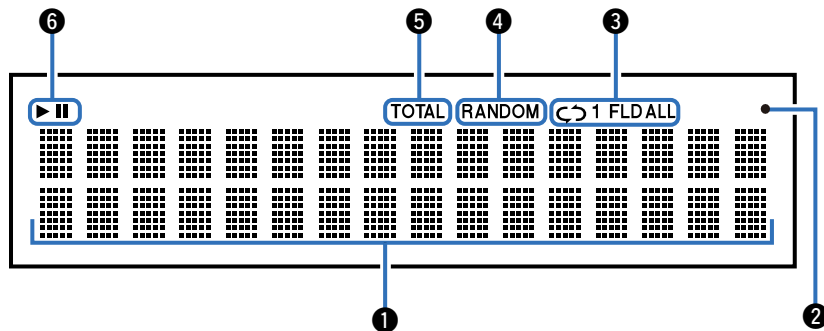
⑮ スキップ/早送りボタン (▶▶/▶▶I)

次の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早送りします ([P.29](#)、[P.34](#)、[P.38](#)、[P.40](#)ページ)。

⑯ ディスクトレイ開閉ボタン (▲)

ディスクトレイを開閉します ([P.28](#)ページ)。

ディスプレイ



① インフォメーションディスプレイ

再生時間表示など、各種情報を表示します。

② リモコン受信表示

リモコンからの信号を受信したときに点灯します。

③ リピートモード表示

リピートモードの設定に合わせて点灯します
([29](#)、[34](#)、[38](#)、[40](#)ページ)。

④ RANDOM表示

ランダム再生中に点灯します
([29](#)、[34](#)、[38](#)、[40](#)ページ)。

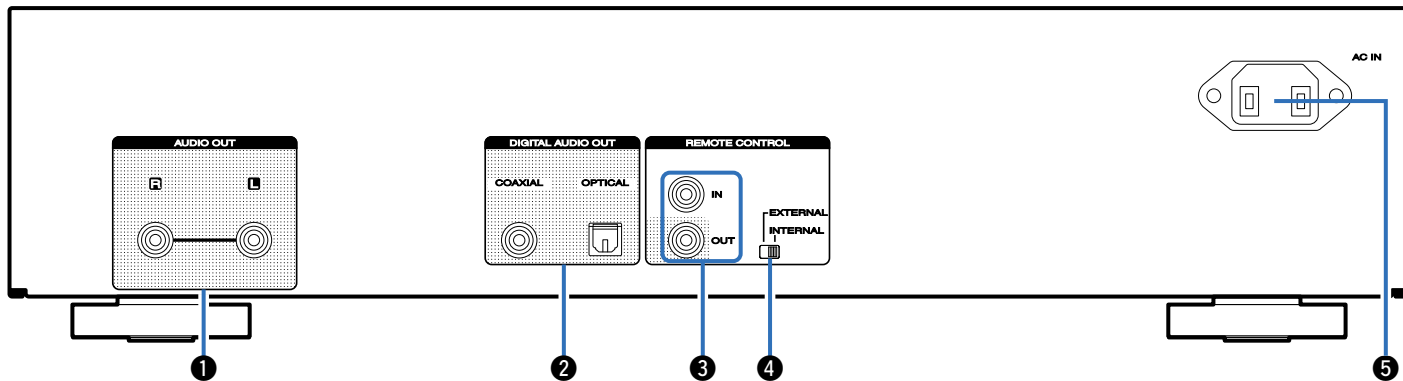
⑤ トータル時間表示

ディスクに収録されている全曲数および全収録時間を表示しているときに点灯します。

⑥ 再生モード表示

▶：再生中に点灯します。
||：一時停止中に点灯します。

リアパネル



① アナログ音声出力端子 (AUDIO OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します (☞18ページ)。

② デジタル音声出力端子 (COAXIAL/OPTICAL)

デジタル音声入力端子付きのAVレシーバーやD/Aコンバーターを接続します (☞19ページ)。

③ リモートコントロール端子

リモートコントロール機能付きのマランツ製アンプを接続するときに使用します (☞22ページ)。

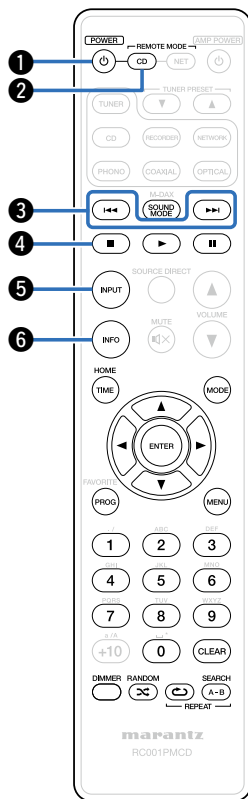
④ EXTERNAL/INTERNALスイッチ

アンプとリモートコントロール接続し、スイッチを“EXTERNAL”に切り替えると、アンプがリモコン信号を受信して、本機はアンプからのリモコン信号を受けて動作します (☞22ページ)。

⑤ ACインレット (AC IN)

電源コードを接続します (☞24ページ)。

リモコン

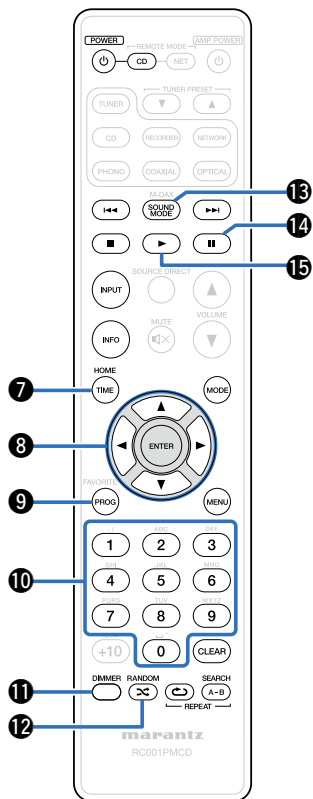


本機 の 操 作

本機を操作するときは、リモートモードCD切り替えボタン（REMOTE MODE CD）を押して、リモコンを本機 の 操 作 模 式 に 切 り 替 え ます。

- ・リモートモードCD切り替えボタン（REMOTE MODE CD）が約2秒間点灯します。

- 1 電源ボタン (⏻)**
本機の電源をオン/オフ（スタンバイ）します（[P.26](#)、[47ページ](#)）。
- 2 リモートモードCD切り替えボタン (REMOTE MODE CD)**
リモコンの操作モードをCDに切り替えます。
- 3 スキップボタン (⏮、⏭)**
曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しまたは早送りします（[P.29](#)、[34](#)、[38](#)、[40ページ](#)）。
- 4 停止ボタン (■)**
再生を停止します（[P.29](#)、[34](#)、[38](#)、[40ページ](#)）。
- 5 メディアモード切り替えボタン (INPUT)**
再生するメディアモードを切り替えます（[P.28](#)、[36](#)、[39ページ](#)）。
- 6 インフォメーションボタン (INFO)**
再生中の曲情報などをディスプレイに表示します（[P.32](#)、[35](#)、[41](#)、[45ページ](#)）。



⑦ 時間表示切り替えボタン (TIME)

再生時間の表示 (再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間) を切り替えます (☞29、34、38、40ページ)。

⑧ カーソルボタン (△▽◀▶)

項目を選択します (☞34、37、40、43ページ)。

⑨ プログラムボタン (PROG)

プログラム再生をします (☞31ページ)。

⑩ 数字ボタン (0~9)

数値を入力します (☞29、31、35ページ)。

⑪ 明るさ調節ボタン (DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します (☞27ページ)。

⑫ ランダムボタン (RANDOM ⚡)

ランダム再生をします (☞29、34、38、40ページ)。

⑬ サウンドモード切り替えボタン

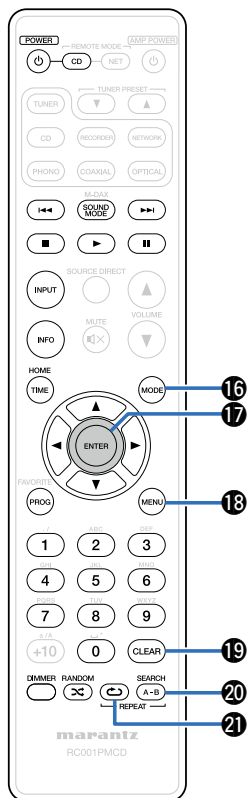
サウンドモードを切り替えます (☞27ページ)。

⑭ 一時停止ボタン (⏸)

再生を一時停止します (☞29、34、38、40ページ)。

⑮ 再生ボタン (▶)

再生をはじめます (☞29、34、38、40ページ)。



16 再生モード切り替えボタン (MODE)

再生モードを切り替えます
([16](#) [33](#)、[37](#)、[40](#)、[45](#)ページ)。

17 エンターボタン (ENTER)

選択した内容を確定します
([16](#) [34](#)、[37](#)、[40](#)、[43](#)ページ)。

18 メニューボタン (MENU)

メニューの設定をします ([16](#) [43](#)ページ)。

19 クリアボタン (CLEAR)

プログラムの登録を取り消します ([16](#) [31](#)ページ)。

20 A-B間リピートボタン (REPEAT A-B)

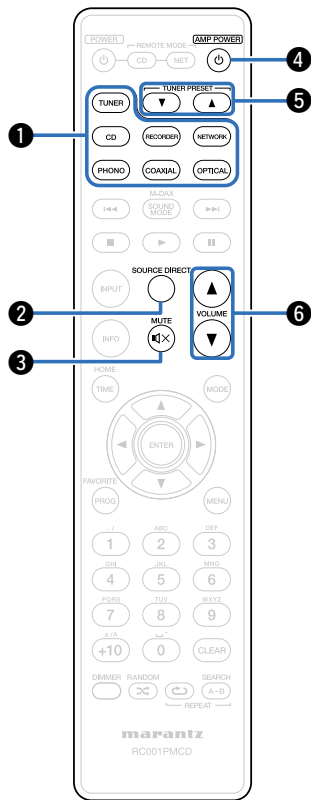
A-B間リピート再生をします ([16](#) [30](#)ページ)。

21 リピートボタン (REPEAT)

リピート再生をします
([16](#) [29](#)、[34](#)、[38](#)、[40](#)ページ)。



• リモートモードが“CD” のときも、アンプの操作ボタンでアンプとチューナーを操作できます。



アンプおよびチューナーの操作

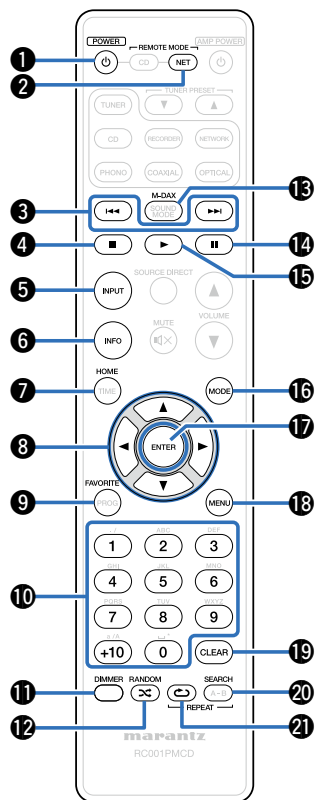
マランツ製アンプおよびチューナーを操作できます。

- ① 入力ソース切り替えボタン
- ② ソースダイレクトボタン (SOURCE DIRECT)
- ③ 消音ボタン (MUTE $\text{M} \times$)
- ④ 電源ボタン (AMP POWER P)
- ⑤ 選局ボタン (TUNER PRESET $\blacktriangle/\blacktriangledown$)
- ⑥ 音量調節ボタン (VOLUME $\blacktriangle/\blacktriangledown$)

ネットワークオーディオプレーヤーの操作

マランツ製ネットワークオーディオプレーヤーを操作するときは、リモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET) を押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えます。

- ・リモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET) が約2秒間点灯します。



- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| ① 電源ボタン (⏻) | ⑪ 明るさ調節ボタン (DIMMER) |
| ② リモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET) | ⑫ ランダムボタン (RANDOM ⚡) |
| ③ スkipボタン (⏮、⏭) | ⑬ M-DAXボタン |
| ④ 停止ボタン (■) | ⑭ 一時停止ボタン (⏮) |
| ⑤ 入力ソース切り替えボタン (INPUT) | ⑮ 再生ボタン (▶) |
| ⑥ インフォメーションボタン (INFO) | ⑯ 再生モード切り替えボタン (MODE) |
| ⑦ ホームボタン (HOME) | ⑰ エンターボタン (ENTER) |
| ⑧ カーソルボタン (△▽◀▶) | ⑱ メニューボタン (MENU) |
| ⑨ お気に入りボタン (FAVORITE) | ⑲ クリアボタン (CLEAR) |
| ⑩ 数字ボタン (0~9、+10) | ⑳ サーチボタン (SEARCH) |
| | ㉑ リピートボタン (REPEAT ⌛) |



- ・リモートモードが“NET” のときも、アンプの操作ボタンでアンプとチューナーを操作できます。
- ・ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続のしかた

ステレオオーディオアンプを接続する (P.18ページ)

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する
(P.19ページ)

USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する
(P.20ページ)

リモートコントロール端子付きの機器を接続する
(P.22ページ)

オーディオタイマーに接続する (P.23ページ)





電源コードを接続する (P.24ページ)

ご注意

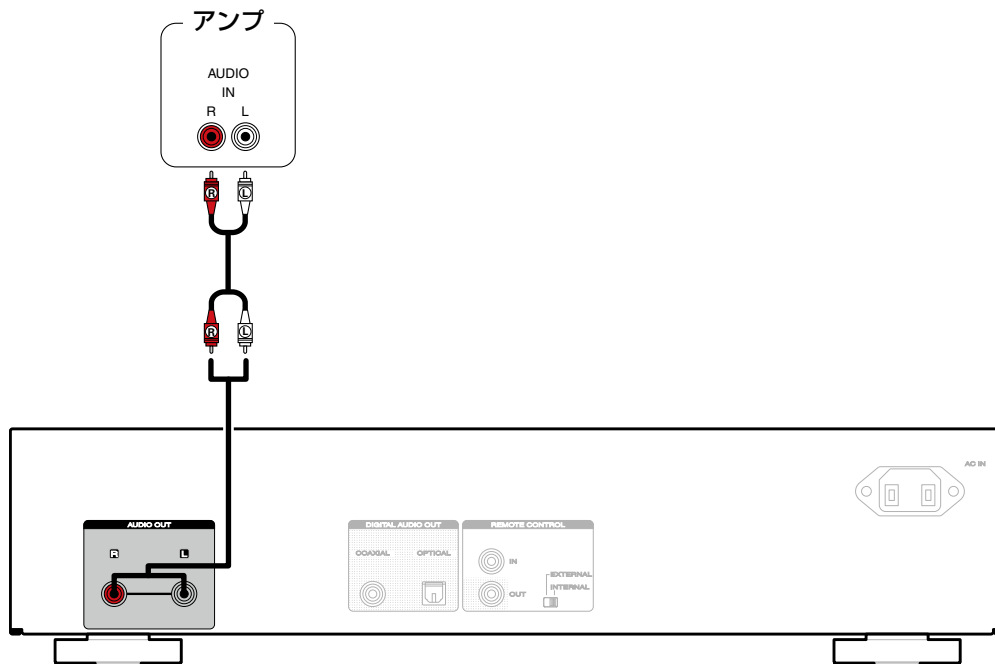
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

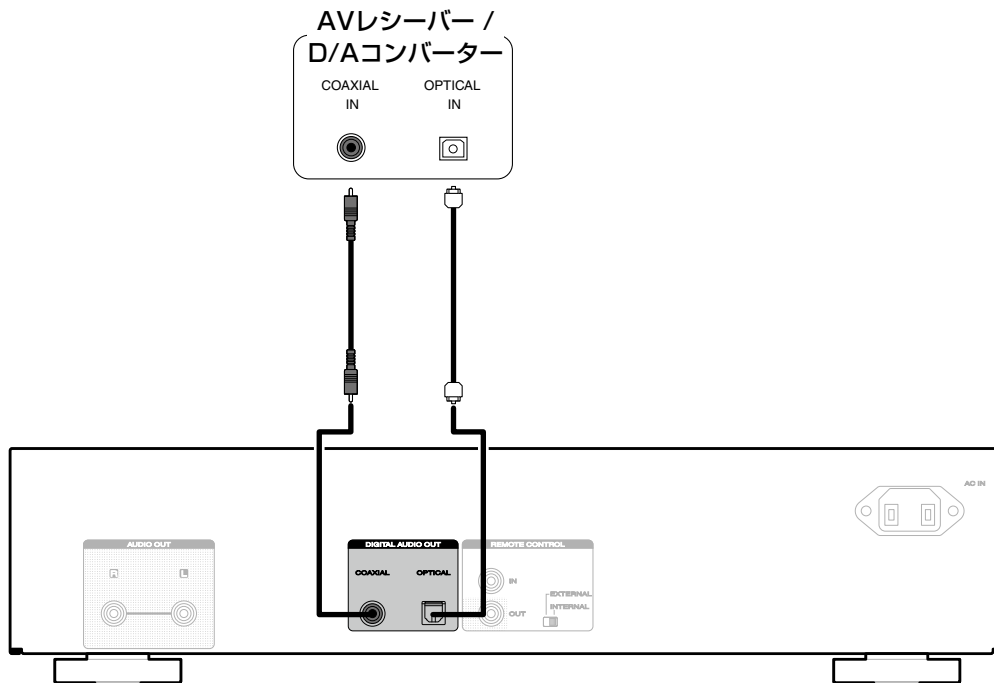
オーディオケーブル (付属)	
リモート接続ケーブル (付属)	
光伝送ケーブル (別売り)	
同軸デジタルケーブル (別売り)	

ステレオオーディオアンプを接続する



デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

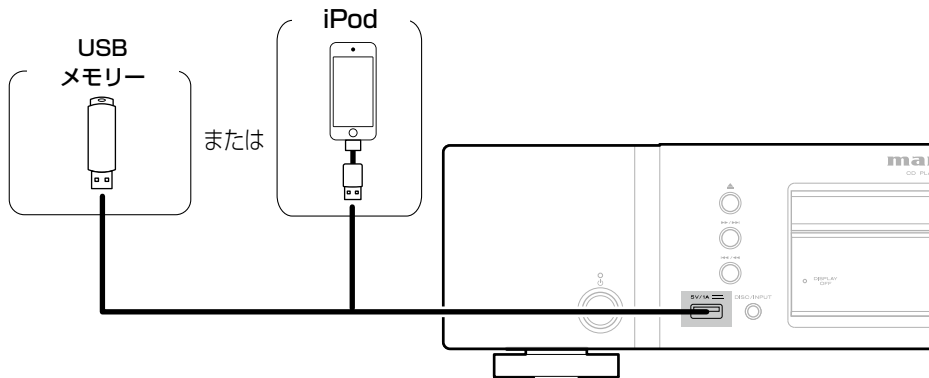
本機にデジタル音声入力端子付きのAVレシーバーやD/Aコンバーターを接続すると、デジタル音声を再生できます。



USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する

iPodやUSBメモリー内の音楽を再生できます。

- 本機とiPodを接続するときは、iPodに付属のUSBケーブルをご使用ください。
- 操作のしかたは、「iPod®を再生する」(P.36ページ)または「USBメモリーを再生する」(P.39ページ)をご覧ください。



- すべてのUSBメモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB接続タイプのポータブルHDDで、ACアダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、ACアダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USBメモリーはUSBハブ経由では動作しません。
- 本機のUSB端子とパソコンをUSBケーブルで接続してご使用いただくことはできません。
- USBメモリーを接続するときに、延長ケーブルはご使用にならないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

■ 対応しているiPod/iPhone

• iPod classic



iPod classic
80GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
160GB (2009)

• iPod nano



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
7th generation
16GB

• iPod touch



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB



iPod touch
5th generation
32GB 64GB

• iPhone



iPhone
4GB 8GB 16GB



iPhone 3G
8GB 16GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 4
8GB 16GB 32GB



iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 5
16GB 32GB 64GB

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

本機とマランツ製のアンプをリモート接続すると、本機はアンプが受信したリモコン信号をアンプから入力して動作します。次の「接続」と「設定」をおこなってください。

接続

付属のリモート接続ケーブルを使用して、本機のREMOTE CONTROL IN端子とアンプのREMOTE CONTROL OUT端子を接続します。

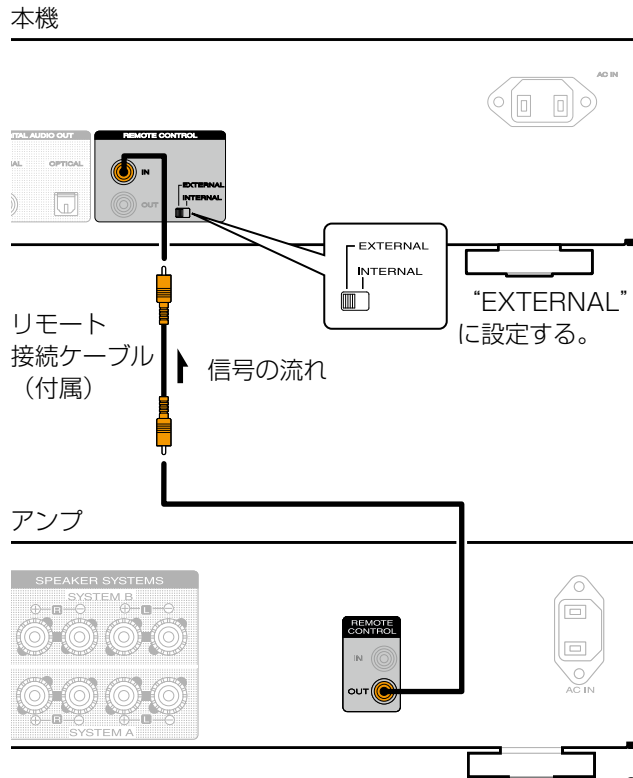
設定

本機のEXTERNAL/INTERNALスイッチを“EXTERNAL”に切り替えます。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

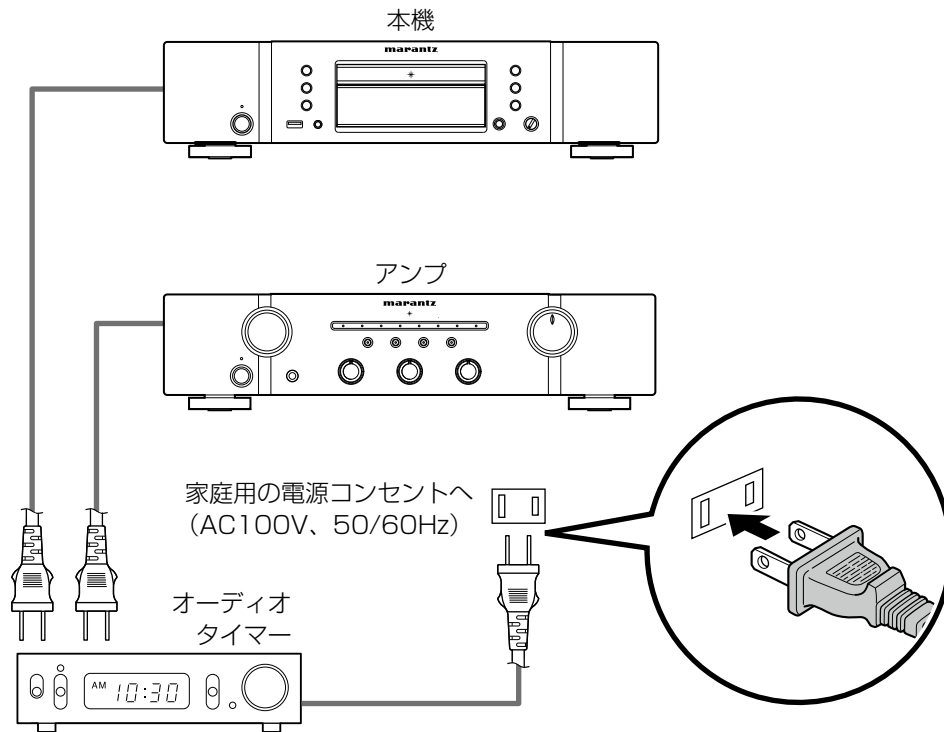


- アンプを接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNALスイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。



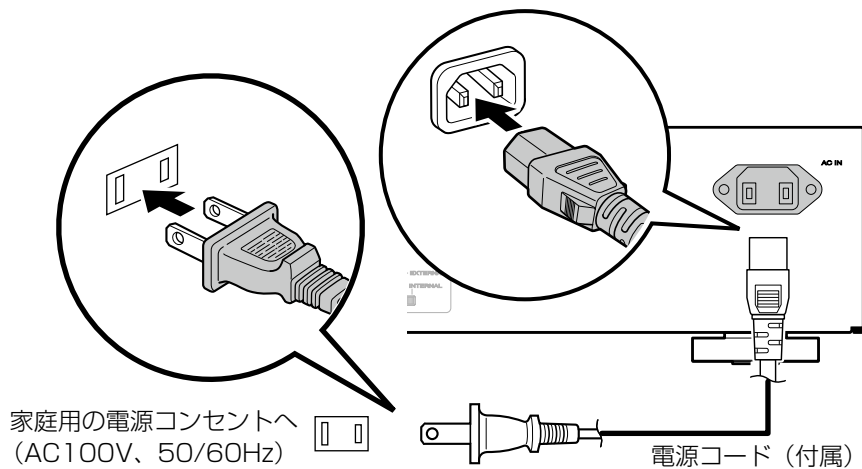
オーディオタイマーに接続する

本機にアンプおよびオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生ができます
([P.44](#)ページ「Timer Play (タイマー再生)」)。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

基本操作 (15 26ページ)

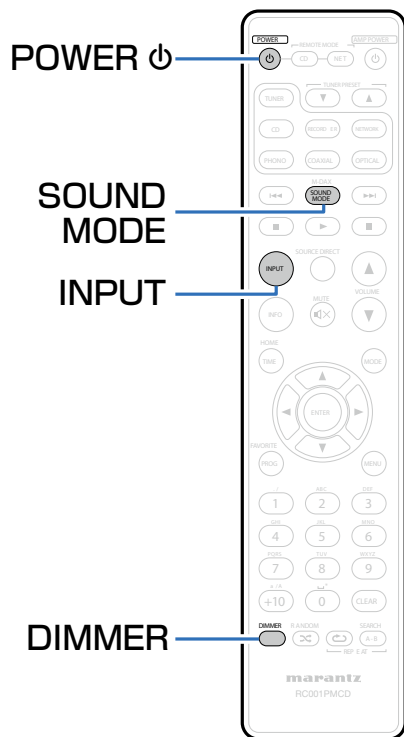
CDを再生する (15 28ページ)

データCD (MP3、WMAおよびAACファイル) を再生する
(15 33ページ)

iPod®を再生する (15 36ページ)

USBメモリーを再生する (15 39ページ)

基本操作



電源を入れる

- 1 POWER を押して、電源を入れる。
電源表示が消灯します。



• 本体の を押しても、電源を入れることができます。

電源をスタンバイにする

- 1 POWER を押す。
電源表示が赤色に点灯します。

メディアモードを切り替える

- 1 INPUT を押して、メディアモードを選ぶ。

Disc (お買い上げ時の設定) :
ディスクを再生するときに選択します。

USB :
iPodやUSBメモリーを再生するときに選択します。



• 本体のDISC/INPUTを押しても、メディアモードを切り替えることができます。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを4段階に切り替えることができます。

1 DIMMERを押す。

サウンドモードを切り替える

本機のデジタル出力およびディスプレイ表示をオフにすることにより、さらに高音質で再生します。

1 停止中にSOUND MODEを押す。

Audio EX OFF（お買い上げ時の設定）：

Audio EXモードを設定しません。

- デジタル出力：あり
- ディスプレイ表示：あり

Audio EX 1：Audio EX OFFモードより高音質な再生をします。

- デジタル出力：なし
- ディスプレイ表示：あり

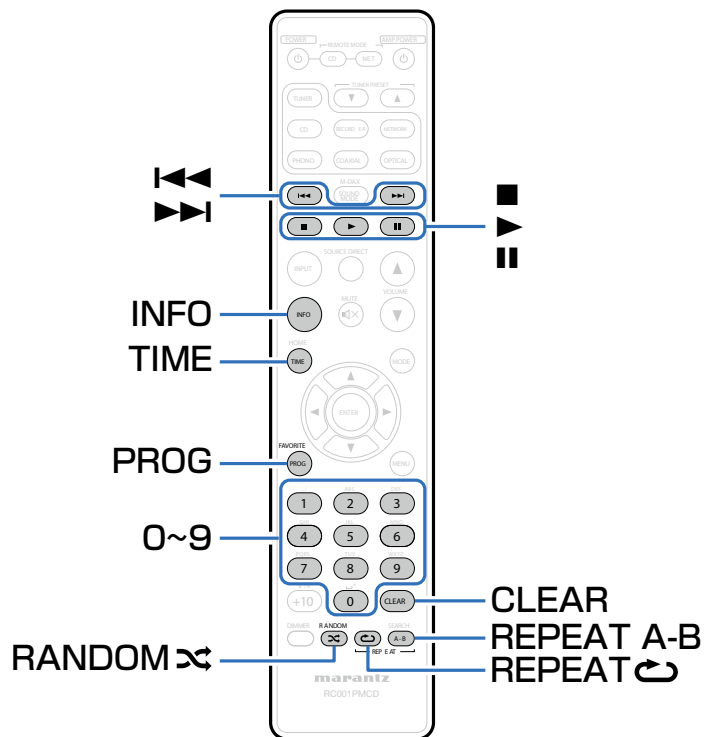
Audio EX 2：最も高音質な再生をします。

- デジタル出力：なし
- ディスプレイ表示：なし（再生中）



- サウンドモードがAudio EX2のときにDIMMERを押すと、約3秒間ディスプレイ表示をオンにします。

CDを再生する




CDを再生する

- 1 ディスクを入れる (63ページ)。
・▲を押すと、ディスクトレイが開閉します。
- 2 ▶を押す。
ディスプレイの▶表示が点灯し、再生をはじめます。

ご注意

- ディスクトレイにはCD以外の物を入れないでください。故障の原因となります。
- 電源がスタンバイの状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

操作ボタン	機能
▶	再生
⏸	一時停止
■	停止
⏮ ▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
0 ~ 9	曲の選択
RANDOM ∞	ランダム再生
REPEAT ↺	リピート再生 ・全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
REPEAT A-B	A-B間リピート再生 ( 30ページ)
TIME	時間表示切り替え ・再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。

■好きな曲を聴く（ダイレクト選曲）

1 0~9を押して、曲を選ぶ。

【例】

4曲目 : 数字ボタンの4を押す。

12曲目 : 数字ボタンの1と2を続けて押す。



- 数字ボタンを押してから約1.5秒後に入力が確定します。2桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

A-B間リピート再生をする

曲の中で聴きたい部分だけを指定して、くり返し再生します。

1 再生中、くり返し再生したい部分の始点で REPEAT A-Bを押す。

ディスプレイの“Repeat A-”表示が点灯します。

2 くり返し再生したい部分の終点で、REPEAT A-Bを押す。

ディスプレイの“Repeat A-B”表示が点灯し、指定した部分（A点～B点）をくり返し再生します。

■ A-B間リピート再生を解除する

A-B間リピート再生中にREPEAT A-Bを押す。

ご注意

- ランダム再生中は、A-B間リピート再生ができません。

お好みの順序で再生する (プログラム再生)

最大25曲までプログラム再生ができます。

1 停止中に、PROGを押す。
ディスプレイに“Program”を表示します。

2 0~9を押して、曲を選ぶ。

【例】


4曲目 : 数字ボタンの4を押す。

12曲目 : 数字ボタンの1と2を続けて押す。

- 数字ボタンを押してから約1.5秒後に入力が確定します。2桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

3 ▶を押す。
プログラムした曲順に再生をはじめます。



- プログラム再生中にRANDOM  を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- プログラム再生中にREPEAT  を押すと、プログラムした曲順にくり返し再生します。

ご注意

- ディスクトレイを開いたり電源を切ったりすると、プログラムを解除します。

■ プログラムした曲順を確認する

停止中に▶▶Iを押す。

▶▶Iを押すたびに、プログラムした曲順で曲番を表示します。

■ プログラムした曲を取り消す

停止中にCLEARを押す。

最後にプログラムした曲を取り消します。

CLEARを押すたびに、最後にプログラムした曲から順に取り消します。

■ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中にPROGを押す。

特定の曲をとばして再生する (デリートプログラム再生)

最大25曲までデリートプログラム再生ができます。

1 停止中にPROGを押して、CLEARを押す。
ディスプレイに“Delete Program”を表示します。

2 0～9を押して、とばしたい曲を選ぶ。

【例】

3曲目、12曲目をとばしたいときは、3を押したあとに、1と2を続けて押す。

3 ▶を押す。
選択した曲をとばして再生をはじめます。

■ デリートプログラムした曲を確認する

停止中に▶▶を押す。

▶▶を押すたびに、とばした曲を順番にディスプレイに表示します。

■ デリートプログラムした最後の曲を取り消す

停止中にCLEARを押す。

最後にデリートプログラムした曲を取り消します。

CLEARを押すたびに、デリートプログラムした最後の曲から順に取り消します。

■ デリートプログラムした曲をすべて取り消す

停止中にPROGを押す。

ディスプレイ表示を切り替える (CD-TEXT)

- CD-TEXTが記録されたディスクの文字情報を見ることができます。
主に再生中の曲の情報を表示します。
- 表示文字数は最大32文字です。
- 英数字のみ対応しています。

1 再生中にINFOを押す。
曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。

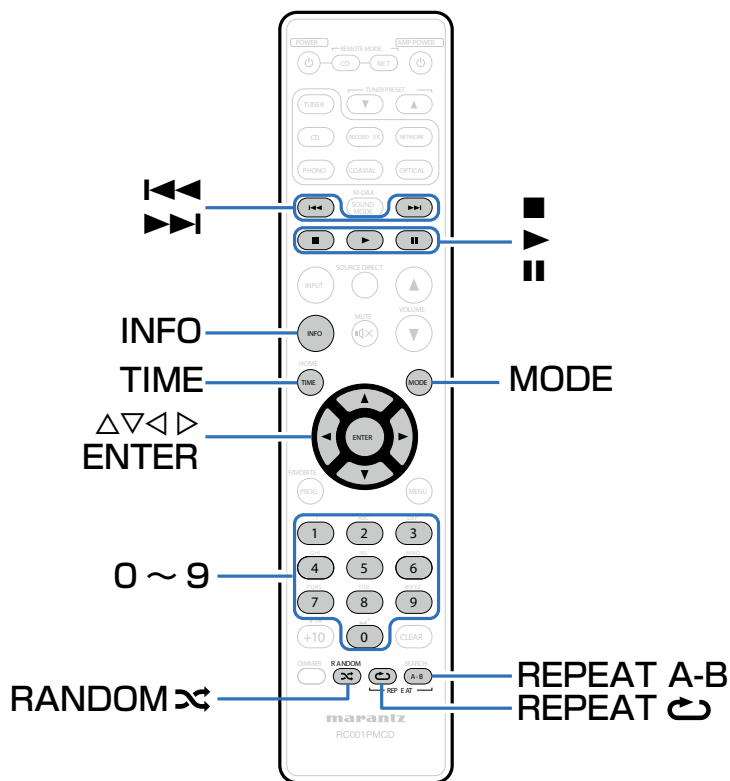


- INFOを押したときに、最初に表示させたい情報を設定できます。
設定のしかたは、「Display Info (ディスプレイ表示)」(P.45 ページ)をご覧ください。

ご注意

- ディスクによってはすべての情報を表示できないことがあります。

データCD (MP3、WMAおよびAACファイル) を再生する



- CD-RまたはCD-RWに記録されたMP3、WMAおよびAACファイルの再生のしかたを説明します。CD-RまたはCD-RW以外のメディアに記録しているファイルの再生については、それぞれの項目をご覧ください。
- インターネットのホームページ上には、MP3形式やWMA・(Windows Media[®] Audio) 形式、AAC形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。それらのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）をCD-RまたはCD-RWに書き込むことにより、本機で再生できます。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 MP3、WMAおよびAAC形式の音楽ファイルを記録したCD-R/CD-RWをディスクトレイに入れる
([参照 63ページ](#))。

- 本体の▲を押すとディスクトレイが開閉します。

2 MODEを押して、“Folder mode”または“All mode”を選ぶ。



□ ディスプレイ表示について

- “Folder mode”を選択したとき
ディスプレイの“FLD”表示が点灯します。
選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
- “All mode”を選択したとき
ディスプレイの“FLD”表示が消灯します。
選択したフォルダやファイルを再生したあと、すべてのフォルダ内のすべての曲を再生します。

3 △▽を押して、再生したいフォルダを選ぶ。

4 <▷を押して、再生したいファイルを選ぶ。

5 ▶を押す。
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生
	一時停止
■	停止
◀◀▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
△▽	フォルダを選択
<▷	ファイルを選択
0~9	ダイレクト選曲
MODE	フォルダ再生モードへの切り替え • 選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
RANDOM 	ランダム再生
REPEAT 	リピート再生 • 全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
REPEAT A-B	A-B間リピート再生 (参照 30ページ)
TIME	時間表示切り替え • 再生曲の経過時間と再生曲の残り時間の表示を切り替えます。



- 本機はディスク読み込み時にフォルダとファイルの番号を自動的に設定します。

ご注意

- ディスクのMP3、WMAおよびAACファイルを再生するときにプログラム再生はできません。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
(この場合、“Not Support”を表示します。)
また、書き込みソフトやその他の要因により再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

■ 再生できるファイル (拡張子) (🔍 58ページ)

■ 再生中にフォルダやファイルを変更する

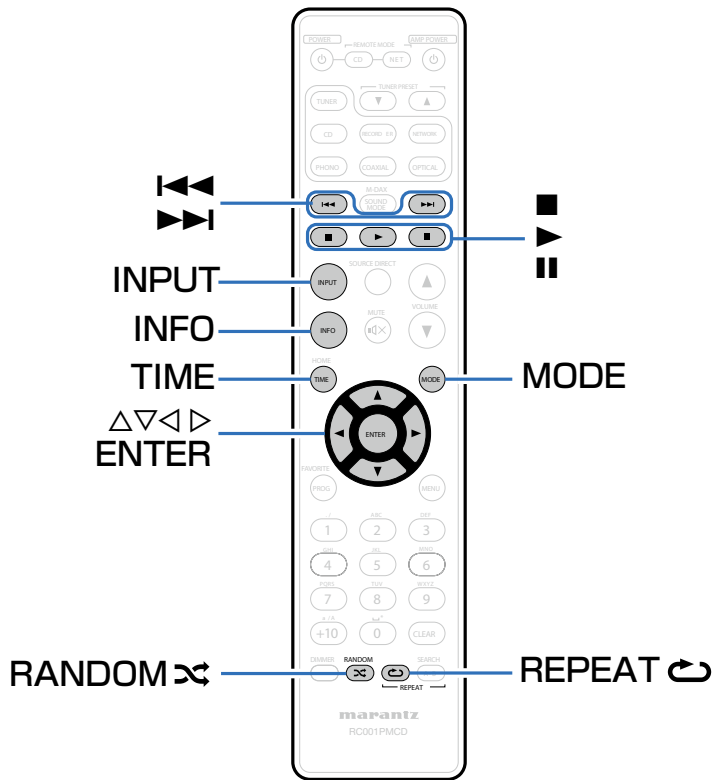
- フォルダ
△▽を押してフォルダを選び、ENTERを押す。
- ファイル
◀▶を押してファイルを選び、ENTERを押す。
または、◀◀、▶▶を押してファイルを選ぶか、0~9を押してファイル番号を選ぶ。
- ファイル番号は、ディスク読み込み時に自動で設定します。

■ ディスプレイ表示を切り替える

- 再生中にINFOを押す。
- ファイル名、曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

```
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz  
0123456789  
!"#$%&:;<>?@[ ]_`!{}~^'() * +  
, - . / = (空白)
```

iPod®を再生する



- iPodに付属しているUSBケーブルを使用してiPodを本機のUSB端子に接続すると、iPodの曲を再生できます。
- 本機で再生できるiPodは、「対応しているiPod/iPhone」(P.21ページ)をご覧ください。



“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffleおよびiPod touchは、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

iPod®の曲を再生する

- 1 iPodをUSB端子に接続する
([P.20ページ](#))。
- 2 INPUTを押して、メディアモードを“USB”に切り替える ([P.26ページ](#))。
本体のディスプレイに“Direct iPod”を表示します。
- 3 iPodの画面を見ながら直接iPodを操作して、曲を再生する。



- iPodの操作モードには、“Direct iPod”と“Remote iPod”の2つがあります。お買い上げ時の設定は、iPodの画面を見ながら直接iPodを操作する“Direct iPod”です。

ご注意

- iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

iPodの操作モードを設定する (Remote iPodモード)

iPodの各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。
ここでは、“Remote iPod”でiPod内の曲を再生するまでの手順を説明します。

- 1 MODEを押す。
本体のディスプレイに“Remote iPod”を表示します。
- 2 △▽を押して再生したいファイルを選び、ENTERを押す。
再生をはじめます。

操作モード		Direct iPod	Remote iPod
再生できる ファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できる ボタン	本機の リモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

操作ボタン	機能
▶	再生
⏸	一時停止
■	停止
⏮▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
RANDOM ∞	ランダム再生
REPEAT ↺	リピート再生 ・全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
MODE	iPod操作モードの設定 ・“Remote iPod” と “Direct iPod” を切り替えます。
TIME	時間表示切り替え ・再生曲の経過時間と再生曲の残り時間の表示を切り替えます。

ご注意

- ・万一iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- ・iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

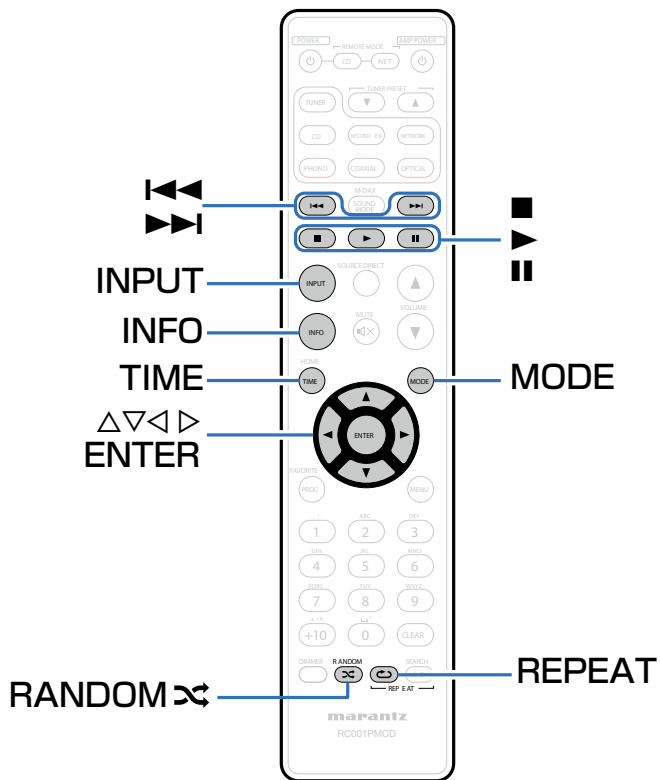
■ ディスプレイ表示を切り替える

再生中にINFOを押す。

- ・曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。







USBメモリーを再生する

USBメモリーに保存された音楽ファイルを再生します。



USBメモリーに保存されたファイルを再生する

- 1 USBメモリーをUSB端子に接続する
([P.20](#)ページ)。
- 2 INPUTを押して、メディアモードを“USB”に切り替える ([P.26](#)ページ)。
- 3 MODEを押して、“Folder mode”あるいは“All mode”を選ぶ。
 - ディスプレイ表示について
 - ・ “Folder mode” を選択したとき
ディスプレイの“FLD”表示が点灯します。
選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
 - ・ “All mode” を選択したとき
ディスプレイの“FLD”表示が消灯します。
選択したフォルダやファイルを再生したあと、すべてのフォルダ内のすべての曲を再生します。
- 4 Δ / ∇ を押してフォルダを選び、ENTERを押す。
- 5 Δ / ∇ を押してファイルを選び、ENTERを押す。
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
	再生
	一時停止
	停止
	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
RANDOM 	ランダム再生
REPEAT 	リピート再生 ・全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
TIME	時間表示切り替え ・再生曲の経過時間と再生曲の残り時間の表示を切り替えます。



- ・メニューの「Resume (レジューム設定)」 ([P.46](#)ページ) を “On” に設定すると、USBメモリーを接続したときに自動的に再生をはじめます。
- ・USBメモリーを本機に接続しているときにメディアモードを“USB”に切り替えると、自動的に再生をはじめます。

ご注意

- ・USBメモリーを本機と接続して使用しているときに、万一USBメモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

■ ディスプレイ表示を切り替える

再生中にINFOを押す。

- ファイル名、曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。
- WAVファイルを再生中は、ファイル名のみ表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

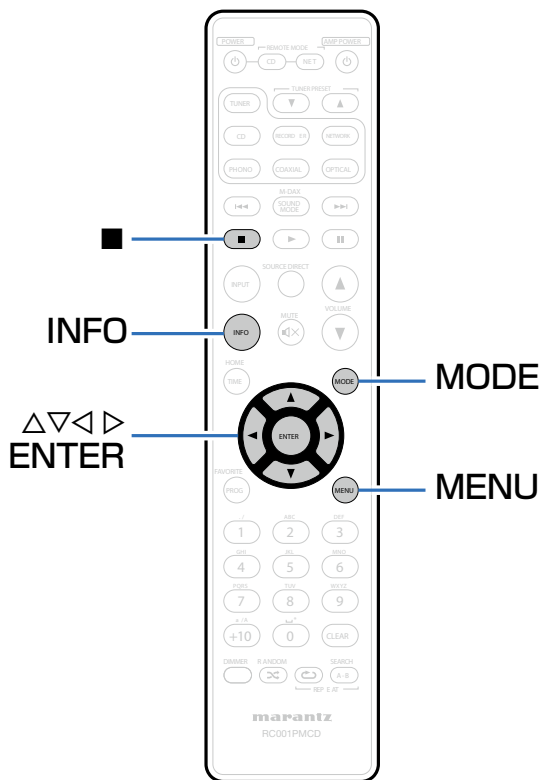
```
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz  
0123456789  
!"#$%&.:;<>?@[ ]_`{|}~^'() * +  
, - . / = (空白)
```

設定のしかた

設定メニュー 一覧

お買い上げ時の設定のままお使いいただくことをおすすめしますが、お好みにより設定してください。

設定項目	内 容	参照ページ	
Digital Out (デジタル出力)	デジタル音声信号出力をするかしないかを設定します。	44	
Timer Play (タイマー再生)	別売りの外部オーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。	44	
Disc Setup (ディスク設定)	Display Info (ディスプレイ表示)	CD-TEXTディスク、MP3、WMAおよびAACファイルの再生中に表示する情報を設定します。	45
	Play File (ファイル再生方式の設定)	MP3、WMAおよびAACファイルを再生中に、すべてのファイルを再生するか、選択したフォルダ内のファイルのみ再生するかを設定します。	45
USB Setup (USB設定)	Display Info (ディスプレイ表示)	USBメモリーの再生中に表示する情報を設定します。	45
	Play File (ファイル再生方式の設定)	USBメモリーのすべてのファイルを再生するか、選択したフォルダ内のファイルのみ再生するかを設定します。	45
	Resume (レジューム設定)	再生を停止したときに、停止した位置を記録するかしないかを設定します。レジューム再生を“On”に設定すると、本機は前回再生したポイントからUSBメモリーの再生をはじめます。	46
iPod Setup (iPod設定)	Display Info (ディスプレイ表示)	iPodを再生するときに表示する情報を設定します。	46
	iPod Control (iPod操作の設定)	iPodの操作を本機でおこなうかiPodでおこなうかを設定します。	46
	Resume (レジューム設定)	再生を一時停止したときに、一時停止した位置を記録するかしないかを設定します。レジューム再生を“On”に設定すると、本機は前回再生したファイルの先頭からiPodの再生をはじめます。	47
Auto Standby (オートスタンバイ)	本機が停止状態で何も操作しない状態が30分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。	47	



メニューの操作のしかた

- 1 停止中にMENUを押す。
ディスプレイにメニューを表示します。
- 2 Δ / ∇ を押して設定または操作したいメニューを選び、ENTERを押す。
- 3 Δ / ∇ を押して、お好みの設定に変更する。
- 4 ENTERを押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、 \triangleleft を押してください。
 - メニューを終了するときには、メニュー表示中にMENUを押してください。メニュー表示が消灯します。

Digital Out (デジタル出力)

デジタル音声信号出力をするかしないかを設定します。

On (お買い上げ時の設定) : デジタル音声信号を出力します。

Off : デジタル音声信号を出力しません。

Timer Play (タイマー再生)

別売りの外部オーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します (参照23ページ「オーディオタイマーに接続する」)。

On : タイマー再生を設定します。タイマー再生をする入力ソースを選択してください。

Off (お買い上げ時の設定) : タイマー再生を設定しません。

■ タイマー再生のしかた

1. 接続した機器の電源を入れる。
2. ディスクを入れる。または、iPodやUSBメモリーを接続する。
3. アンプの入力ソースを本機に切り替える。
4. オーディオタイマーをタイマー再生を開始する時間に設定する。
5. オーディオタイマーのタイマーモードをオンにする。
オーディオタイマーに接続した機器の電源がオフになります。
設定した時間になると接続した機器の電源がオンになり、再生をはじめます。

ご注意

- ・タイマー再生ではランダム再生やプログラム再生はできません。

Disc Setup (ディスク設定)

CD-TEXTディスクやディスクに保存されたMP3、WMAおよびAACファイルの再生に関する設定をおこないます。

Display Info (ディスプレイ表示)

CD-TEXTディスク、MP3、WMAおよびAACファイルの再生中に表示する情報を設定します。

File Name (お買い上げ時の設定) : ファイル名を表示します。

Title : 曲名を表示します。

Artist : アーティスト名を表示します。

Album : アルバム名を表示します。



- 再生中にリモコンのINFOを押しても、表示する情報を切り替えることができます。

Play File (ファイル再生方式の設定)

MP3、WMAおよびAACファイルを再生中に、すべてのファイルを再生するか、選択したフォルダ内のファイルのみ再生するかを設定します。

All (お買い上げ時の設定) :

ディスク内のすべてのファイルを再生します。

Folder : 選択したフォルダのファイルのみを再生します。



- 再生中にリモコンのMODEを押しても、ファイル再生方式の設定を切り替えることができます。

USB Setup (USB設定)

USBメモリーの再生に関する設定をおこないます。

Display Info (ディスプレイ表示)

USBメモリーの再生中に表示する情報を設定します。

File Name (お買い上げ時の設定) : ファイル名を表示します。

Title : 曲名を表示します。

Artist : アーティスト名を表示します。

Album : アルバム名を表示します。



- 再生中にリモコンのINFOを押しても、表示する情報を切り替えることができます。

Play File (ファイル再生方式の設定)

USBメモリーの再生中に、すべてのファイルを再生するか、選択したフォルダ内のファイルのみ再生するかを設定します。

All (お買い上げ時の設定) :

USBメモリー内のすべてのファイルを再生します。

Folder : 選択したフォルダのファイルのみを再生します。



- 再生中にリモコンのMODEを押しても、ファイル再生方式の設定を切り替えることができます。

Resume (レジューム設定)

再生を停止したときに、停止した位置を記録するかしないかを設定します。レジューム再生を“On”に設定すると、本機は前回再生したポイントからUSBメモリーの再生をはじめます。

On (お買い上げ時の設定) : レジューム再生をおこないます。

Off : レジューム再生をおこないません。

ご注意

- レジューム設定を“On”にしているときに、USBメモリーを取り外してから再び接続してもレジューム再生をしますが、別のUSBメモリーを接続すると以前のUSBメモリーのレジューム情報は消去されます。
- USBメモリーを取り外してファイルの追加や削除をおこなった場合、レジューム情報が消去されることがあります。

iPod Setup (iPod設定)

iPodの再生に関する設定をおこないます。

Display Info (ディスプレイ表示)

iPodの再生中に表示する情報を設定します。

Title (お買い上げ時の設定) : 曲名を表示します。

Artist : アーティスト名を表示します。

Album : アルバム名を表示します。



- 再生中にリモコンのINFOを押しても、表示する情報を切り替えることができません。

iPod Control (iPod操作の設定)

iPodの操作を本機でおこなうかiPodでおこなうかを設定します。

Direct (お買い上げ時の設定) : iPodで操作します。

Remote : 本機およびリモコンで操作します。



- 再生中にリモコンのMODEを押しても、ファイル再生方式の設定を切り替えることができません。

Resume (レジューム設定)

再生を一時停止したときに、一時停止した位置を記録するかしないかを設定します。レジューム再生を“On”に設定すると、本機は前回再生したファイルの先頭から再生をはじめます。

On (お買い上げ時の設定) : レジューム再生をおこないます。

Off : レジューム再生をおこないません。

ご注意

- 停止ボタン (■) を押して iPod の再生を停止した場合は、レジューム再生はおこなえません。

Auto Standby (オートスタンバイ)

本機が停止状態で何も操作しない状態が30分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。

On (お買い上げ時の設定) :

約30分後に本機をスタンバイ状態にします。

Off : 自動的に本機をスタンバイ状態にしません。



- iPodの充電が完了したあと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。

ご注意

- iPodの操作モードがDirectモードのときは、本機が停止状態で何も操作しない状態が30分以上続いた場合でも、自動的にスタンバイ状態にはなりません。

困ったときは

目次

■ こんなときの解決方法..... (49)	■ 故障かな?と思ったら..... (51)
アナログ音声を高音質に再生したい..... (49)	電源が入らない/電源が切れる..... (51)
CD-TEXTを表示したい..... (49)	リモコンで操作ができない..... (52)
CDの再生したくない曲をとばして再生したい..... (49)	本機のディスプレイが表示されない..... (53)
特定の範囲をリピート再生したい..... (49)	音がまったく出ない..... (53)
特定のフォルダのみを再生したい..... (49)	音が途切れたり、ノイズが入ったりする..... (53)
iPodやUSBメモリーの自動再生を解除したい..... (49)	ディスクが再生できない..... (54)
現在再生しているiPodの曲情報(曲名など)を 本体のディスプレイに表示させたい..... (49)	iPodが再生できない..... (54)
WAVファイルを再生したい..... (50)	USBメモリーが再生できない..... (55)
本機のリモコンを使用してマランツ製 ネットワークオーディオプレーヤーを操作したい..... (50)	iPodやUSBメモリー内のファイル名が正しく表示されない..... (56)

こんなときの解決方法

アナログ音声を高音質に再生したい

- Audio EXの設定をおこない、デジタル出力とディスプレイ表示をオフにしてください (☞ [27ページ](#))。

CD-TEXTを表示したい

- 本機はCD-TEXT表示に対応しています。INFOを押して、ディスプレイ表示を切り替えてください (☞ [32ページ](#))。

CDの再生したくない曲をとばして再生したい

- デリートプログラム再生機能で、スキップしたい曲を選択してください (☞ [32ページ](#))。

特定の範囲をリピート再生したい

- A-B間リピート再生を設定してください (☞ [30ページ](#))。

特定のフォルダのみを再生したい

- メニューの“Play File”を“Folder”に設定するか、リモコンのMODEを押して再生範囲の設定を“Folder”に切り替えてから、再生したいフォルダを選択して再生してください (☞ [40ページ](#))。

iPodやUSBメモリーの自動再生を解除したい

- メニューの“Resume”を“Off”に設定してください (☞ [46、47ページ](#))。

現在再生しているiPodの曲情報（曲名など）を本体のディスプレイに表示させたい

- メニューの“iPod Control”を“Remote”に設定するか、リモコンのMODEを押してRemote iPodモードに切り替えてください (☞ [37、46ページ](#))。

WAVファイルを再生したい

- 本機はUSBメモリーに保存したWAVファイルを再生できます（[P.40ページ](#)）。

本機のリモコンを使用してマランツ製ネットワークオーディオプレーヤーを操作したい

- リモコンのリモートモードNET切り替えボタン（REMOTE MODE NET）を押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えてください（[P.16ページ](#)）。
- ネットワークオーディオプレーヤーの操作方法については、ネットワークオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、初めに次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってご確認ください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のおお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。• スタンバイモードになっています。本体のϕを押すかリモコンのPOWER ϕを押してください。	24 26
電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none">• オートスタンバイモードの設定が“On”です。オートスタンバイモードでは本機が停止状態で何も操作しない状態が30分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを解除するには、メニューの“Auto Standby”を“Off”に設定してください。	47

■ リモコンで操作ができない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	6
	• リモコンは、本機から約7mおよび30° 以内の範囲で操作してください。	6
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	—
	• 乾電池の⊕と⊖を正しくセットしてください。	6
	• 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。	—
	• 3D映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや3D視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	—
	• リモコンのリモートモードCD切り替えボタン（REMOTE MODE CD）を押して、リモコン操作モードを“CD” にしてください。	12

■ 本機のディスプレイが表示されない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	・リモコンのDIMMERボタンを押して、“Off” 以外の設定に切り替えてください。 ・サウンドモードを“Audio EX 2” にすると、ディスプレイの表示が消えます。	<u>27</u> <u>27</u>

■ 音がまったく出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	・すべての機器の接続を確認してください。 ・接続ケーブルを奥まで挿してください。 ・入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。 ・ケーブルが破損していないか確認してください。 ・アンプの設定を確認し、適切に調節してください。	<u>17</u> — — — —

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
USBメモリーの再生中に音が途切れる。	・USBメモリーの転送速度が遅いとき、音が途切れることがあります。	—

■ ディスクが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。 	64
CD-R/CD-RWが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。 • 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。 • 本機のデータCD再生機能はMP3、WMAおよびAACのファイルのみに対応しています。 	58 、 65 — 58
ディスプレイに“Not Support”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • 再生できないディスクを入れた場合には、“Not Support”を表示します。 	63
ディスプレイに“No Disc”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクを裏返しに入れた場合やディスクが入っていない場合には、“No Disc”を表示します。 	63

■ iPodが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
iPodが接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> • USB端子にiPodを接続してご使用になる場合、対応していないiPodがあります。 • iPodの接続に純正以外のUSBケーブルをご使用になると、iPodを認識できない場合があります。純正のUSBケーブルを使用してください。 	20 —

■ USBメモリーが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ディスプレイに “No Device” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • 接続不良などで、本機がUSBメモリーを認識できない場合があります。USBメモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。 • マスストレージクラスのUSBメモリーに対応しています。 • USBハブを経由した接続はできません。USBメモリーはUSB端子に直接接続してください。 • USBメモリーのフォーマットをFAT16またはFAT32に設定してください。 • すべてのUSBメモリーの動作は保証できません。一部のUSBメモリーは、認識できない場合があります。また、ACアダプターから電源供給できるタイプのUSB接続対応ポータブルハードディスクをご使用になる場合は、ハードディスクにACアダプターを接続して使用してください。 	<p>20</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>
USBメモリー内のファイルを表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。 • 本機が表示できるファイル構成は最大8階層、フォルダ数は最大700個、ファイル数は最大65,535個です。USBメモリーのフォルダ構成を変更してください。 • USBメモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。 	<p>59</p> <p>—</p> <p>—</p>
USBメモリー内のファイルを再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。 • 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。 	<p>59</p> <p>—</p>

■ iPodやUSBメモリー内のファイル名が正しく表示されない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ファイル名が“…”など、正しく表示されない。	・本機で表示できない文字は、“.”（ピリオド）に置き換えて表示します。	—

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から1年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

■ 補修部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるための、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容




- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

再生できるメディア

ディスク

再生できるメディア	
CD	
CD-R	
CD-RW	

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

ファイル

次のフォーマットで作成されたCD-RまたはCD-RWディスクを再生します。

■ ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル1、2

拡張フォーマット (ジュリエット、ロメオ)

- 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大フォルダ数：255個

最大ファイル数：255個

■ タグ情報

ID3タグ (Ver.1.xと2.x)

WMAタグ

AACタグ

(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

再生できるファイル (拡張子)	ファイルの仕様
MP3 (.mp3)	<ul style="list-style-type: none"> • サンプル周波数：32/44.1/48kHz • ビットレート：32kbps～320kbps • ファイルフォーマット： MPEG1 Audio Layer 3
WMA (.wma)	<ul style="list-style-type: none"> • サンプル周波数：32/44.1/48kHz • ビットレート：64kbps～192kbps • ファイルフォーマット： Windows Media Audio
AAC (.m4a)	<ul style="list-style-type: none"> • サンプル周波数：32/44.1/48kHz • ビットレート：64kbps～192kbps • ファイルフォーマット： Advanced Audio Codec

ご注意

- ファイルには必ず拡張子 “.MP3” “.WMA” “.m4a” を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。

USBメモリー

■ USB対応ファイルシステム

“FAT16” または “FAT32”

- USBメモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数：65,535個

最大フォルダ数：700個

■ ファイル形式

MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)

WMA (Windows Media Audio)

AAC (Advanced Audio Codec)

WAV (Linear PCM)

■ タグ情報

ID3タグ (Ver.1.xと2.x)

WMAタグ

AACタグ

(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

再生できるファイル (拡張子)	ファイルの仕様
MP3 (.mp3)	<ul style="list-style-type: none">サンプリング周波数：32/44.1/48kHzビットレート：32kbps～320kbpsファイルフォーマット： MPEG 1 Audio Layer 3
WMA (.wma)	<ul style="list-style-type: none">サンプリング周波数：32/44.1/48kHzビットレート：48kbps～320kbpsファイルフォーマット： Windows Media Audio
AAC (.m4a)	<ul style="list-style-type: none">サンプリング周波数：32/44.1/48kHzビットレート：64kbps～192kbpsファイルフォーマット： Advanced Audio Codec
Linear PCM (.wav)	<ul style="list-style-type: none">サンプリング周波数：リニアPCM 32/44.1/48kHzビット長：16bitファイルフォーマット：リニアPCM



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生します。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンでCDなどからリッピングする際にWMAでエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- USBメモリー内のファイルの音声をデジタル音声出力端子から出力する場合、サンプリング周波数を44.1kHzに変換して出力します。

ご注意

- USBメモリーを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ってからおこなってください。USBメモリーやメモリー内のデータが破損する恐れがあります。
- 本機はMP3プレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話などのUSB機器には対応していません。
- 本機はUSB機器の充電に対応していません。
- 本機はカードリーダー、USB延長ケーブル、USBハブには対応していません。

MP3/WMA/AAC/WAVファイルの再生順番について

MP3/WMA/AAC/WAVファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

CD-R/CD-RW

CD-RやCD-RWディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ……、の順番に再生します。

USBメモリー

USBメモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ……、を再生し、次に別の第一階層のフォルダ……、の順番に再生します。



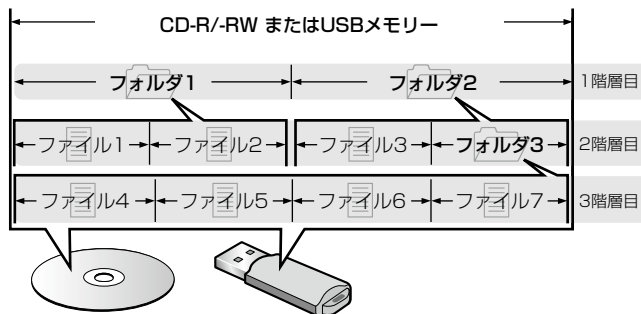
- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RWのライティングソフトによっては、再生する順番が異なる場合があります。

ご注意

- USBメモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

フォルダとファイルについて

CD-R/-RWやUSBメモリーに記録されたMP3/WMA/AAC/WAVファイルは、いくつかの大きな区切り（フォルダ）と小さな区切り（ファイル）に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は8階層まで認識できます。

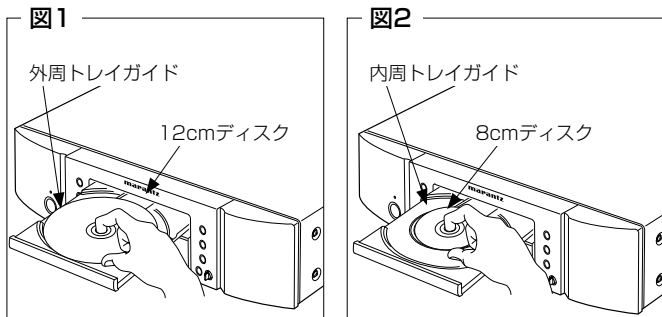


- MP3/WMAファイルをCD-R/-RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて、水平に載せてください。



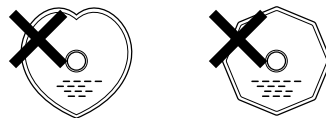
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。



- 再生できないディスクを入れた場合には、ディスプレイに“00Tr 00:00”を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、ディスプレイに“No Disc”を表示します。

ご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



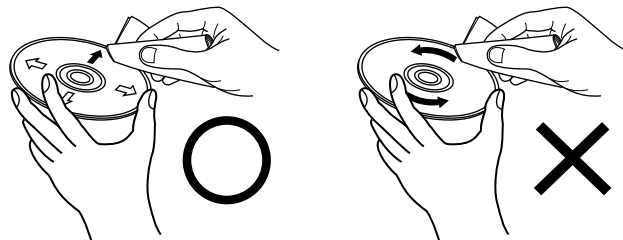
- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

メディアの取り扱いについて

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かささないでください。
- USBメモリーの再生中にUSBメモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USBメモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USBメモリーやファイルが壊れることがあります。USBメモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形したUSBメモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ずディスクやUSBメモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 - 直射日光が長時間当たるところ
 - 湿気・ほこりなどが多いところ
 - 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

用語の解説

M

MP3 (MPEG Audio Layer 3)

音声データ圧縮方式の1つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽CD並の音質を保ったままデータ量を約1/11に圧縮できます。

W

WMA (Windows Media Audio)

米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。

WMAデータは、Windows Media® Playerを使用してエンコード（符号化）することができます。

WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

さ行

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。

1秒間に刻む回数をサンプリング周波数と呼び、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

た行

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

は行

ビットレート (Bit rate)

ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビット処理したかを表わします。

ファイナライズ

CDレコーダーやCDドライブで録音されたCDを、再生対応機器で再生できるように処理することです。

ら行

リニアPCM

圧縮していないPCM (Pulse Code Modulation) 信号です。CDの音声と同じ方式ですが、BDやDVDでは192kHz、96kHz、48kHzなどのサンプリング周波数を用いており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

主な仕様

■ オーディオ特性

- ・アナログ出力
 - チャンネル: 2チャンネル
 - 再生周波数範囲: 2Hz~20kHz
 - 再生周波数特: 2Hz~20kHz (± 0.5 dB)
 - SN 比: 110dB
 - ダイナミックレンジ: 100dB
 - 高調波歪率: 0.002% (1kHz)
 - ワウ・フラッター: 水晶精度
- ・出力レベル
 - 信号方式: 2.2V RMS stereo
 - ヘッドホン出力: 28mW/32 Ω (可変最大)
- ・デジタル出力
 - 同軸出力 (ピンジャック) 0.5Vp-p/75 Ω
 - 光出力 (角型光コネクター) -19dBm
- ・光学読み取り方式
 - レーザー: AlGaAs
 - 波長: 780nm
 - 信号方式: 16-bit リニアPCM
 - サンプリング周波数: 44.1kHz

■ 総合

電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	32W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W 以下
許容動作温度	+5℃～ +35℃
許容動作湿度:	5～90% (結露のないこと)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

索引

🔍 A	
Audio EX	27
🔍 C	
CD-TEXT	32
🔍 P	
Playback	
AAC	33、39
CD	28
iPod	36
MP3	33、39
USBメモリー	39
WAV	39
WMA	33、39
データCD	33
🔍 かな	
🔍 お	
オートスタンバイ	47
🔍 こ	
故障かな？と思ったら	51
こんなときの解決方法	49

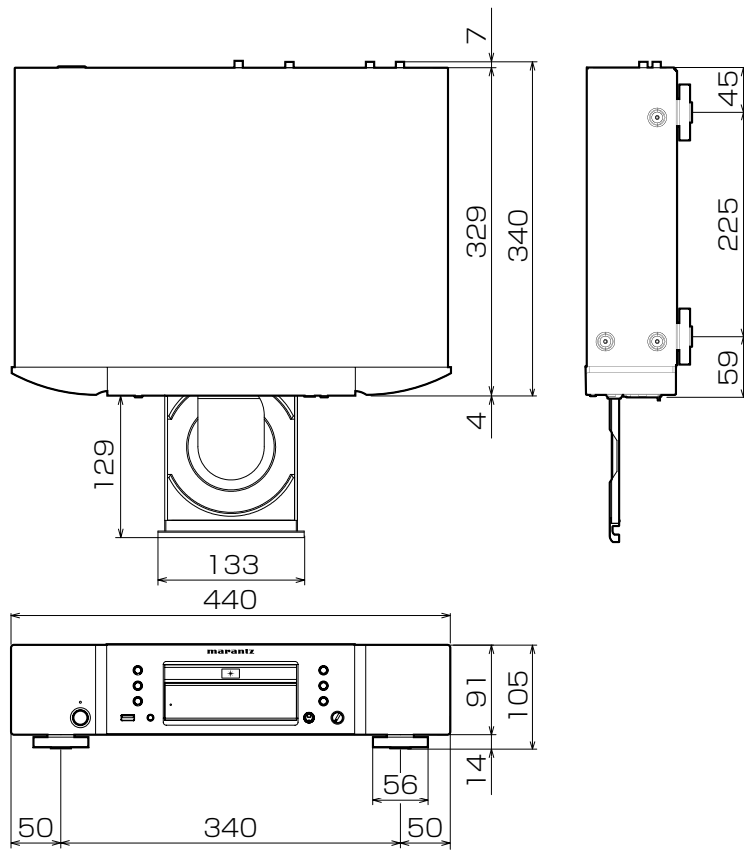
🔍 さ	
再生モード	
A-B間リピート再生	30
Remote iPodモード	37
デリートプログラム再生	32
プログラム再生	31
ランダム再生	29、34、38、40
リピート再生	29、34、38、40
サンプリング周波数	58、65
🔍 せ	
接続	
AVレシーバー	19
D/Aコンバーター	19
iPod	20
USBメモリー	20
アンプ	18
オーディオタイマー	23
電源コード	24
リモートコントロール	22
接続に使用するケーブル	17
🔍 た	
ダイナミックレンジ	65
ダイレクト選曲	29

🔍 て	
ディスプレイ	10
ディスプレイの明るさ	27
電源を入れる	26
🔍 ひ	
ビットレート	65
🔍 ふ	
ファイナライズ	65
付属品	5
フロントパネル	8
🔍 ほ	
保証と修理について	57
🔍 め	
メディアモードの選択	26
メニュー一覧	42
🔍 り	
リアパネル	11
リニアPCM	65
リモコン	12
乾電池の入れかた	6

■ 寸法

単位：mm

■ 質量：6.6kg



marantz®

お客様ご相談センター

☎ 0570 (666) 112

【電話番号はお間違えないようにおかけください。】

IP 電話をご利用の場合など、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。その場合は 03 (3570) 5138 におかけください。

受付時間 9:30 ~ 17:30

(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

修理に関するお問い合わせは、
添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

後日のために記入しておいてください。

購入店名:	電話 (- -)
ご購入年月日:	年 月 日

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

<http://www.marantz.jp>